

狛江市

ごみ半減新聞

K O M A E

Vol.51 平成26年9月

発行 狛江市環境部清掃課
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11
狛江市ピン・缶リサイクルセンター内
☎03-3488-5300(直通)
ホームページ <http://www.city.komae.tokyo.jp/>

使用済 小型家電の 無料実験回収を 行います！！ 詳しくは4ページへ



狛江市環境マスコット
えこさん

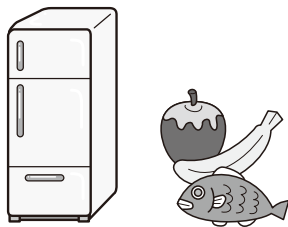
まずは 燃やせるごみからはじめましょう

平成25年度の実績で、ごみ収集量の約64パーセントは「燃やせる(可燃)ごみ」です。生活をしていると必ずごみは出てしまいます。まずはごみにならないようにすること、そしてどうしても捨てなければならないとき

は、ごみ袋に入れる前にもう一度確認し分別を徹底して、資源化できるものは確実に分別しましょう。毎日できる地球にやさしいことです。ぜひご家庭でためしてみてください。

生ごみの「もともになるもの」を減らしてごみ減量を！

組成分析などをすると、燃やせる(可燃)ごみの中には「賞味期限切れ」「消費期限切れ」など、使われないまま捨てられている食材が見つかります。買い物に行く前に、冷蔵庫・ストックの中にある食品のチェックをしましょう。



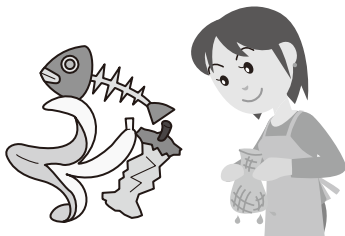
紙は資源です！

平成25年度に市で実施した組成分析では、燃やせる(可燃)ごみの中にお菓子などの紙箱やダイレクトメールの封筒などが、重量比で約8%確認されています。これらの古紙類をしっかりと分別するとかなりのごみの減量につながります。



生ごみ「ひとしぼり」でごみ減量を！

生ごみは、水分を多く含んでいます。「ぎゅっとひとしぼり」が生ごみ減量への第一歩になります。においも少なくなりますのでやってみませんか！



使えるものはリユースで減量を！

燃やせる(可燃)・燃やせない(不燃)・粗大ごみの中にも、まだまだ使えるものが入っています。使えるものは大事に修理して使ったり、欲しい人に譲ったりしましょう。フリーマーケットやインターネットオークション・リサイクルショップでの売却も一つの手段です。その分ごみが減量されたことになります。



エコクッキング・食材は使いきりましょう！

必要以上の量は買わないようにしたり、食材は腐る前に使い切りましょう。食べ残しを減らすことも大切です。



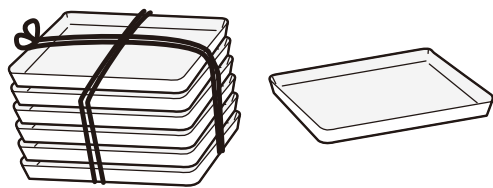
過剰包装は断りましょう！

個別包装していない商品を買うようにしたり、過剰な包装は断りましょう。まずごみを減らすことが重要です。



食品トレイはスーパーの店頭回収に！

市内のスーパーでは、白色トレイ等の店頭回収を行っています。各店舗で回収方法やルールが違いますので、それぞれに合わせた形で出すようお願いいたします。



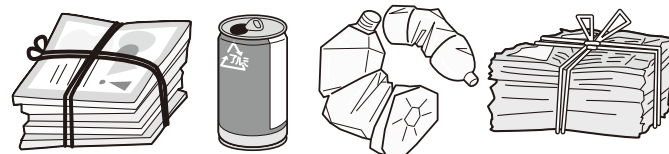
生ごみ処理機・生ごみ堆肥化容器の活用で減量を！

生ごみ処理機・生ごみ堆肥化容器を使えば乾燥や堆肥化により生ごみを減量することができます。市では生ごみ処理機・生ごみ堆肥化容器の購入費の一部を補助しています。また、生ごみ堆肥化の講習会を実施しています。(詳しくは清掃課へ)



集団回収を活用しましょう！

集団回収を始めるとごみに対する意識向上や地域のつながりもできます。団体で市に登録し、資源物を回収業者に引き渡すと、引き渡した量に応じて市から「資源物集団回収事業奨励金」が交付されます。町会や自治会など、おおむね20世帯以上の営利を目的としない団体であれば参加できます。(詳しくは清掃課へ)



ごみを減らすと、清掃工場で燃やす量と運搬する車の燃料も減るから、二酸化炭素の排出量も減って、地球にもやさしいね。

